

令和8年度シラバス（家庭）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	家庭（家庭基礎）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	教育図書『家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来』				
副教材等	教育図書『家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来 学習ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しにより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
--

3 指導の重点

・生活に関する知識や技術を身につけながら、それらが人生の中で持つ意味や在り方を考える。 ・自分の立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、生活を工夫し考えようとしたりして、実践しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・実習作品の提出状況およびその内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題(学習ノート等)の内容 ・グループワークやプレゼンテーションの内容 ・実習作品や実習レポートの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題(学習ノート等)の提出状況およびその内容 ・グループワークやプレゼンテーションの内容 ・実習作品や実習レポートの内容 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材	学習活動	評価 の 観点	評価方法
4	口絵	1	教科書	・家庭基礎の学習内容を概観する。	c	ワークシート
4	A編1 生活設計 1	2	教科書	・各ライフステージの特徴と課題の理解 ・現時点でのライフイベントの予想 ・平均寿命に関する探究、考察	a b	定期考査 準拠ノート
4 5	A編2 青年期と 家族	5	教科書 男女平等教育 パンフレット	・青年期の特性、青年期に必要な自立、職業労働と家事労働の特徴、日本の雇用環境、性の尊重、社会の変化に伴う家族・家庭の変化、家庭生活を支える基本的な法律についての理解 ・家族・家庭、男女共同参画社会、成年年齢に関する探究	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション
5 6	A編3 保育	8	教科書	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義 乳幼児期の特性、親の役割や愛着、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義、子どもの生活習慣・食事・健康と安全、子育ての支援と環境整備、子どもの権利や福祉についての理解 ・保育実習 ・子どもに良い環境、育児休業についての考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション 実習レポート
7	A編4 高齢期	4	教科書	・高齢期の心身の特徴、高齢期に多い疾病、介助の具体的な方法、わが国の高齢化の特徴、高齢者福祉の現状と課題、高齢者を支える基本的な制度についての理解 ・高齢者を支える地域の役割、社会保障についての考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク レポート
7	A編5 共生社会	2	教科書 年金関係資料	・自助・互助・共助・公助、社会保障制度、公的年金制度についての理解 ・共生社会の実現についての考察、工夫	a b c	定期考査 夏季休業 課題

月	単元名	授業 時数	教材	学習活動	評価 の 観点	評価方法
8 9 10	B編1 食生活	18	教科書	・食事と健康、食事の役割、栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴、食品を適切に選択・保存する方法、食事摂取基準、各栄養素の必要量、体にとっての水の大切さ、料理の盛り付けや配膳、食事のマナーの基本、日本の食文化を理解する。 ・調理の基本的な技術を身につける。 → 調理実習 ・相手に配慮した献立、現代の食生活についての考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション 実習作品 実習レポート
11	B編2 衣生活	8	教科書	・人間の生活と衣服のかかわり、衣服のおもな機能、ライフステージの各場面に適した衣服、衣服計画の重要性、衣服の素材（繊維、糸、布）の種類や特徴、素材の性能・着心地や構成、衣服の表示、衣服の管理についての理解 ・基本的な衣服製作の技術の修得 → 被服製作実習 ・自分自身の衣生活の分析と衣服計画の立案 ・持続可能な衣生活についての考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション 実習作品 実習レポート
12	B編3 住生活	6	教科書 不動産 について のパン フレット	・人と住まいとのかかわり、住まいの機能、災害への備え、家庭内事故の要因、家族のライフステージや状況に合わせた適切な住まい、まちづくりに参加する重要性、日本の住宅事情や課題の理解 ・住居の平面図の読み取り ・安全・快適で持続可能な住まい方についての考察・工夫	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション 冬季休業 課題
1	C編1 経済計画	2	教科書 金融教 育資料	・家計のしくみ、収入と支出のバランス、金融商品の特徴、経済計画の重要性についての理解。 ・財産管理についての考察	a b	定期考査 準拠ノート グループワーク
1	C編2 消費生活	4	教科書 消費者 教育パン フレット	・消費行動の意思決定要因、契約する時の注意点や心構え、大人と未成年の違い、様々な決済方法、消費者トラブル、消費者保護のしくみ、消費者の権利と責任についての理解 ・生活情報の活用に必要なリテラシー ・自分の消費行動、各種決済方法、自立した消費者についての考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク プレゼンテーション
2	C編3 環境	2	教科書	・環境問題、持続可能な社会を実現するための社会の取り組みに、消費行動が社会に与える影響についての理解 ・持続可能な社会のための行動の考察	a b c	定期考査 準拠ノート グループワーク
3	生活設計 2	2	教科書	・生活資源とライフスキルについての理解 ・将来の生活設計	c	準拠ノート グループワーク

計 64 時間（55 分授業）

7 課題・提出物等

- ・単元の修了ごとに準拠ノートを提出
- ・調理実習の記録レポート
- ・被服実習の作品

8 担当者からの一言

教科書の内容を元に最新の情報を取り入れ、より社会で起こっている出来事を自分事として捉えられるよう実践的な部分を取り入れつつ授業を行います。